

【北九州市立高等学校】 地域社会に関する学科「未来共創科」（令和6年度設置予定）

新学科設置の目的

生徒が学校内外の様々な年齢・分野・立場の方々と対話・連携・協働しながら
共に未来を創造する学びを通して「北九州グローバル人材」として必要な資質・能力の育成を目指すとともに
 総合型選抜（大学入試）などにおいて必要な**表現力・発信力の育成**も目指す



令和4年度の目標

【对学校外】

- 産官学民とのつながりづくり
- ソトと連携・協働する体制構築
- 資源開拓・連携先探し

【对教職員】

- 教職員との共通理解（魅力向上の必要性、探求的な学びの重要性など）

【对市民・ステークホルダー】

- 魅力向上事業の周知
- ステークホルダーのニーズ把握

取組状況

- ✓ 学則改正（新学科設置、定員変更）
- ✓ スクール・ミッションの策定
- ✓ コンソーシアム及び運営指導委員会の設置
- ✓ コーディネーターの配置（2名）
- ✓ 民間人校長の採用（R4.10～副校長、R5.4～校長（4年間））
- ✓ 魅力向上に向けた校内の体制づくり
- ✓ 「北九州市立高等学校の魅力向上プラン」の策定・公表
- ✓ 高校魅力化評価システムの実施
- ✓ ステークホルダーへのアンケート調査

成果と課題

（○：成果、●：課題（R5への持ち越し））

- 関わってくれる教職員の増加
- 外部との連携・協働体制の構築（市高を応援してくれる多くの方の存在に気づくことができた）
- 市高の存在感が大きくなっていったこと（市教委内のみならず、市全体として）
- カリキュラム案づくりに着手
- 生徒や保護者、地域などと連携・協働した具体の取組までは着手できなかったこと
- カリキュラム案のプレ実施にまで至らなかったこと
- スクール・ポリシーの策定はR5年度へ